

針路研討論会 (@文京区民センター)

「ブーム政党」を考える

～「日本政治の混迷の底にあるもの」に代えて～

〈内 容〉

- 1) 「ブーム政党」と「既成政党」
- 2) 新自由クラブからみんなの党まで
- 3) 日本維新の会

明治大学政治経済学部・西川伸一
nisikawa1116■gmail.com (■→@)
<http://nishikawashin-ichi.jimdo.com/>
[twitter:@azusayui](https://twitter.com/azusayui)

1) 「ブーム政党」と「既成政党」

「これらの懸念を橋下氏はどう解消するのか。浮ついたブームでなく、しっかりした中身で既成政党を脅かしてもらいたい。」



『日経新聞』2012.9.9「春秋」

「ブーム政党」: 新自由クラブ、日本新党、新進党(?), 民主党(?),
みんなの党、国民の生活が第一(?), 日本維新の会
「既成政党」: 民主党(?), 自民党、公明党、共産党、社民党

政党支持率(2012年) (%)

針路研/2012.10.8

政党名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
民主党	18.5	17.6	18.1	16.7	18.4	16.9	15.2	14.3	16.7
自民党	18.3	16.9	17.2	18.8	19.9	20.9	19.8	23.9	20.1
国民の生活が第一	—	—	—	—	—	—	—	0.6	0.6
公明党	3.7	3.1	2.9	2.8	3.8	2.4	2.9	3.0	4.5
みんなの党	2.7	2.9	2.9	1.2	2.2	2.7	1.1	2.1	1.3
共産党	2.0	1.6	2.6	2.2	1.1	1.7	1.7	2.4	1.9
社民党	0.7	0.6	1.1	0.8	0.5	0.3	0.3	0.1	0.6
たちあがれ日本	0.3	0.1	0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0
新党きづな	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国民新党	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
新党大地・真民主	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新党改革	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.6	0.6	0.9	1.4	1.1	1.0	0.6	0.9	2.3
支持なし	46.1	49.4	48.7	49.2	47.1	47.3	52.0	45.9	45.2
わからない、無回答	7.2	7.2	5.4	6.8	5.6	6.6	6.3	6.6	6.9
日本維新の会	—	—	—	—	—	—	—	—	— ₂

出典：NHK放送文化研究所・政治意識月例調査 (<http://www.nhk.or.jp/bunken/yoron/political/index.html>)

共同・朝日全国緊急電話世論調査

実施日：2012年10月1・2日

政党名	支持率		次期衆院選*	
	共同	朝日	共同	朝日
民主党	12.3	14	12.3	17
自民党	30.4	21		30
国民の生活が第一	1.9	1		1
公明党	3.7	3		4
みんなの党	3.0	1		2
共産党	2.3	1		2
社民党	1.0	1		1
たちあがれ日本	0.2	0		0
国民新党	0.1	0		0
新党改革	0.2	0		0
日本維新の会	10.7	2	13.9	4
支持政党なし	33.5	49		38

NHK：電話法（RDD追跡法）

例）9月1623→1060（65.3%）

朝日：「朝日RDD方式」

1801→942（52%）

「日本維新の会...次期衆院選比例代表投票先では...民主党を上回る2位に入った。」『共同通信』2012.10.2 配信記事



*次期衆院選比例代表投票先

「ブーム政党」はなぜ生じるのか

「支持なし」層；無党派層；浮動票；「風」の受け皿

既成政党への幻滅感→「民主党と自民に対する不満と失望」渡邊（2012：39）

政治への閉塞感と無力感→「なにもかわらない」 ☆「漠然とした神風頼み」

変化への渴望感→「スカッとさわやか」 中野（2012：216）

ブーム政党の必須条件

若いカリスマ的なリーダーの圧倒的な人気

河野洋平「新自由クラブ」39歳

細川護熙「日本新党」54歳

橋下徹「日本維新の会」43歳

Cp.)渡辺喜美「みんなの党」57歳

小沢一郎「国民の生活が第一」70歳

熊本1区(5)							
当	213,125	細川	護熙	日新			新
当	93,824	野田	毅	自民・渡			前
当	82,620	松岡	利勝	自民・三			前
当	74,652	田中	昭一	社会			前
当	71,415	倉田	栄喜	公明			前
△	69,304	魚住	汎英	新生			前
	21,831	野田	将晴	無			新
	11,295	下城	正臣	共産			新

1993.7.18衆院総選挙結果

ブーム政党のイデオロギー

中道右派あるいは新自由主義、少なくとも左派ではない。

すり寄る「既成政党」政治家→乗りやすい

Cp.)社民連(1978-1994)衆4・参2



河野洋平(1976)『拍手はいらない』PHP。



針路研/2012.10.8

「ブーム政党」
の主役たち

細川護熙内閣
1993.8.9-1994.4.28



2012.7.11「国民の生活が第一」結党。⁵

2)新自由クラブからみんなの党まで

新自由クラブ

結党:1976.6.25 自民党を離党した衆院議員5人と参院議員1人
「長老支配のもとで密室的な権力抗争に終始している」

代表:河野洋平 幹事長:西岡武夫



そのほか、田川誠一、山口敏夫、柿澤弘治ら。

1976.6.14自民党本部で離党を発表

政党名	東京	大阪
自民党	34	31
社会党	24	20
共産党	8	12
公明党	6	8
民社党	4	6
新自由クラブ	6	5
どれにもしない	7	6
答えない	11	12

(%)⁶

結党時支持率

「ロッキード事件本社世論調査」
『朝日新聞』1976.8.10
「あなたは、どの政党が一番好き
ですか。」

獲得議席の推移

総選挙	新自々候補者	同当選者	自民党当選者	総議席数
34(1976.12.5)	25	17	249	511
35(1979.10.7)	31	4	248	511
36(1980.6.22)	25	12	284	511
37(1983.12.18)	17	8	250	511
38(1986.7.6)	12	6	300	512

解党まで

注)いずれも追加公認は含まず。

1979.7 西岡(自民への接近)の離党 ←河野(中道路線)との対立
 1979総選挙後の首相指名選挙で大平に投票。

→連立模索するも失敗、河野代表引責辞任。

1981.1院内会派「新自由クラブ・民主連合」結成し中道4党の統一会派目指す。

→1983.9 統一会派解消。

1983.12～第2次中曽根内閣に入閣:田川(自治・国家公安)、
 山口(改造=労働)、河野(再改造=科技厅)

1986.8.15 解党して自民党に復帰(田川は進歩党結成)。

★党として最初に臨んだ総選挙での獲得議席を一度も上回れず。＝党勢停滞。

「寿命」:10年と20日

日本新党

結党: 1992.5.22 「既成政党の離合集散による「政界再編成」では、この危機を打開することはできない」「唯一の選択肢は、新党を結成して有権者の半数近い「支持政党なし」層の要望に応えることである」細川(1992:94)

代表: 細川護熙(元参院議員、元熊本県知事)

1992.7.26参院選 細川以外の3人は新人。
共産党と同じ4議席獲得、民社の3を上回る。

「世論調査」『朝日新聞』1993.4.28

◆あなたは、どの政党が一番好きですか。

自民	47 (自民35・自民色12)
社会	17 (社会11・社会色6)
公明	3 (公明3・公明色0)
共産	4 (共産2・共産色2)
民社	3 (民社2・民社色1)
社民連	1 (社民連0・社民連色1)
日本新	14 (日本新5・日本新色9)
支持政党なし	7
答えない	4

★支持率で第3党！

選挙区(定員)				選挙区(定員)			
投票数	氏名	政党名		投票数	氏名	政党名	
当	山本正和	社会	前	須藤美也子	共産	新	
当	及川哲一	社会	前	緒方靖夫	共産	新	
当	山本哲夫	社会	前	雪野威徳	共産	新	
当	山本英一	社会	前	日隅妃都美	共産	新	
当	山本裕	社会	前	石井真一郎	共産	新	
当	山本上	社会	前	山田浦幸夫	共産	新	
当	山本持	社会	前	篠島のぼる	共産	新	
当	山本俊弘	社会	前	小島智子	共産	新	
当	山本由美子	社会	前	紙佐藤義淳	共産	新	
当	山本英男	社会	前	佐川魏誠	共産	新	
当	山本浩直	社会	前	鈴木博子	共産	新	
当	山本直光	社会	前	前沢健次	共産	新	
当	山本好数子	社会	前	島井三郎	共産	新	
当	山本直子	社会	前	日高美佐子	共産	新	
当	山本保元	社会	前	高原真紀子	共産	新	
当	山本ふみ子	社会	前	三田下康子	共産	新	
当	山本明将	社会	前	松川亮	共産	新	
当	山本将勝	社会	前	笠井亮	共産	新	
公明党	牛嶋正弘	公明	新	日本新党	細川護熙	日本新党	元
当	続訓直彦	公明	新	小池ユリ男	日本新党	新	
当	大久保和歌子	公明	新	寺澤邦太郎	日本新党	新	
当	広中洋郎	公明	前	武田久三	日本新党	新	
当	鶴川順二	公明	前	松崎慶三	日本新党	新	
当	及川重子	公明	前	小島り寛	日本新党	新	
当	猪熊節子	公明	前	円安公彦	日本新党	新	
当	溝口義雄	公明	新	安横尾章夫	日本新党	新	
当	山本輝雄	公明	新	横尾章夫	日本新党	新	
当	吉沢昭雄	公明	新	藤田あや子	日本新党	新	
当	松本ナツ子	公明	新	川名英子	日本新党	新	
当	松本美智子	公明	新	山口和之	日本新党	新	
当	大谷悦清	公明	新	山口優美子	日本新党	新	
当	花井清	公明	新	大川道子	日本新党	新	
当	安原一	公明	新	兼永貴規	日本新党	新	
当	立木洋	共産	前	民社党	直嶋正行	民社	新
当	聴岡吉典	共産	前	勝木清	民社	新	
当	吉正治	共産	前	長谷川映子	民社	新	
当	有働	共産	前	梅沢	民社	新	

「総選挙情勢調査」『朝日新聞』1993.7.14

● 3新党候補者名・政党名の浸透割合

	候補者名で浸透	政党名で浸透
新生党	82%	18%
新党さきがけ	89%	11%
日本新党	64%	36%

☆「人より政党」で投票

1993.7.18総選挙

		前	元	新	女性	前回当選	選挙前勢力
自民	223	179	18	26	1	275	222
社会	70	64	1	5	3	136	134
新生	55	34	2	19	0	--	36
公明	51	24	1	26	2	45	45
日本新	35	0	0	35	2	--	0
共産	15	8	4	3	2	16	16
民社	15	10	4	1	0	14	13
さきがけ	13	9	0	4	0	--	10
社民連	4	4	0	0	0	4	4
諸派	0	0	0	0	0	1	2
無所属	30	11	4	15	4	21	15



記者会見で新党の名称を「日本新党」と発表する細川護熙
平成4年5月22日 東京赤坂の草月会館)



揃って登院する日本新党の議員たち。中央は小池百合子、その右隣が枝野幸男。左端は中田宏（平成5年8月5日 国会前）

『朝日新聞』1993.7.19 日本新党の公認候補は57人。

1993総選挙で日本新党の公認候補として当選して、現在も国会議員である者

	氏名	所属(当選回数)	備考			
1	荒井 聰	民主(衆5)	元経財副大臣	首長経験者		
2	五十嵐文彦	民主(衆4)	前財務副大臣		氏名	備考
3	枝野 幸男	民主(衆6)	経産相	1	河村たかし	名古屋市 長
4	小沢 鋭仁	民主(衆6)	元環境相			
5	海江田万里	民主(衆5)	元経産相	2	中田 宏	前横浜市 長
6	鴨下 一郎	自民(衆6)	元環境相			
7	小池百合子	自民(参1・衆6)	前自民党総務会長	3	細川 護熙	元首相
8	樽床 伸二	民主(衆5)	総務相	4	山田 宏	前杉並区 長
9	長浜 博行	民主(衆4・参1)	環境相	★20年後、政界の中枢に		
10	野田 佳彦	民主(衆5)	首相			
11	藤村 修	民主(衆6)	官房長官			
12	前原 誠司	民主(衆6)	国家戦略相			
13	牧野 聖修	民主(衆4)	前経産副大臣			
14	茂木 敏充	自民(衆6)	前自民党政調会長			
15	渡辺浩一郎	新党きずな(衆2)	新党きずな幹事長			

総選挙の後

1993.7.19 衆院院内会派「さきがけ日本新党」結成

1993.8.9 細川連立内閣発足

→日本新党からの入閣は
細川のみ

1994.1 政治改革関連4法案成立

→衆院に小選挙区比例
代表並立制導入

1994.4.8 細川首相辞意表明、
「さきがけ日本新党」解消

1994.4.25 細川内閣総辞職

同日 羽田孜連立内閣発足

→日本新党からは寺沢芳男参院議員が経企庁長官として入閣
日本新党は新生党、民社党、自由党、改革の会とともに衆院
院内会派「改新」を結成

1994.6.25 羽田内閣総辞職

1994.6.30 村山富市連立内閣発足 →日本新党は野党に



1994.10.30 第1回党大会
二大政党制実現に向けて解党を宣言

1994.12.9 日本新党解党
★「既成政党の離合集散」に埋没
「寿命」: 2年6か月と20日

新進党

結党: 1994.12.10
新生党、日本新党、公明党、民社党などが合同
党首: 海部俊樹→1995.12 小沢一郎
1995.7.24参院選
比例区で18議席を獲得し自民の15議席を上回る。
1996.10.20総選挙
156議席を獲得し、前回総選挙より4議席減らす。民主党は52議席。

長崎県選挙区(1)					当	加田	藤村	修秀	一昭	新進	新前
△	174,017	田浦	直典	新進	新	水島	島裕	孝平	裕孝	新進	新
△	165,387	宮島	大九郎	自民	新	海野	立馬	義久	孝平	新進	新
△	98,447	松田	藤龍一	無社	新	足立	馬暮	良久	美一人	新進	新
	96,081	佐藤	貴恵子	共産	新	但木	福本	潤達	一夫	新進	新
	34,032	西村			新	友今	渡畑	田邦	市昭	新進	新
熊本県選挙区(2)					当	星	崎	俊	博	新進	新
当	315,898	阿曾	清水	新進	新	松	崎	清	博	新進	新
当	279,273	三浦	悌子	無	新	小	石	林	栄	新進	新
△	113,194	紀平	憲之	無	前	篠	田	栄	太	新進	新
	20,790	武宮	敬	共産	新	小	森	良	章	新進	新
	826	荒	敬	諸派	新	市	川	宏	郎	新進	新
大分県選挙区(1)					前	林	順	一	通	新進	新
当	342,946	梶原	敬義	社会	前	前	野	竹	治	志	新
△	122,443	岩男	淳一郎	無	新	及	半	田	川	敏	新
	21,603	重松	明男	共産	新	武	岡	敬	三	自民	新
	3,481	沓掛	松秀	無	新	見	野	裕	自民	前	
	1,627	大橋	富士子	諸派	新	中	原	爽	重	自民	前
宮崎県選挙区(1)					新	成	石	道	子	自民	前
当	189,562	長峰	基俊	自民	新	尾	辻	秀	久	自民	前
△	111,548	野別	隆高	社会	前	清	水	嘉	与	子	自民
△	100,082	松本	泰夫	新進	新	石	川	弘	治	自民	元
	15,423	野田	章	共産	新	依	田	智	治	自民	新
鹿児島県選挙区(2)					当	須	藤	良	太	郎	自民
当	293,538	鎌田	要人	自民	前	釜	本	邦	茂	自民	新
当	238,594	久保	亘也	社会	前	小	山	孝	雄	自民	新
△	133,666	長野	祐基	新進	新	橋	本	聖	子	自民	新
	23,840	桂田	成	共産	新	海	老	義	彦	自民	新
沖縄県選挙区(1)					当	岩	井	国	臣	自民	新
当	215,582	照屋	寛徳	無	新	八	代	英	太	自民	新
△	189,079	大城	真順	諸派	新	中	島	啓	太	自民	新
	79,203	外間	久子	共産	新						
比例代表区					当						
新進党					当						
当		大森	礼子	新進	新						
当		林寛	洋介	新進	前						
当		益田	昭久	新進	前						
当		寺崎			前						

○自民32%、新進5% 政党支持率

全国世論調査での政党支持率は、自民支持率三二%、新進支持率五%。二月電話調査とほとんど変わらなかった。新進党は昨年十一月面接調査の一〇%に比べ半分に落ち込んだ支持率を回復できなかった。民主五%、社民五%、共産四%。太陽党は四捨五入で一%に達しなかった。
「面接方式による全国世論調査(実施日1997.3.2-3)」



『朝日新聞』1997.3.5

その後、党勢は回復せず。

1997.12分党、解散 → 1998.1.4 旧新進党の6分割が確定

「寿命」: 3年 ★公明頼みの小沢の強引な党運営があた

民主党

①旧民主党(1996.9-1998.4)

新党さきがけを離党した鳩山由紀夫の呼びかけで、さきがけ、社民党、新進党などの離党者らが結成。

★「排除の論理」で武村、村山の参加を拒否。

共同代表: 鳩山由紀夫・菅直人

1996.10総選挙で52議席→現有議席を維持。



②新民主党(1998.4-2003.9)

結成前史:院内会派「民主友愛太陽国民連合」

→1998.7参院選に向けて「新党」結成へ

1998.4 旧民主党、民政党、新党友愛、民主改革連合が合流して結成

1998.7.12参院選 27議席獲得

2000.6.25総選挙 127議席獲得(32議席増)

2001.7.29参院選 26議席獲得

③現民主党(2003.9-)

2003.9自由党と合併

2003.11.9総選挙 177議席獲得(40議席増)

2004.7.11参院選 50議席獲得(改選議席で第1党)

2005.9.11総選挙 113議席獲得(64議席減)

2007.7.29参院選 60議席獲得(非改選と併せて参院第1党に)

2009.8.30総選挙 308議席獲得(193議席増→政権獲得)

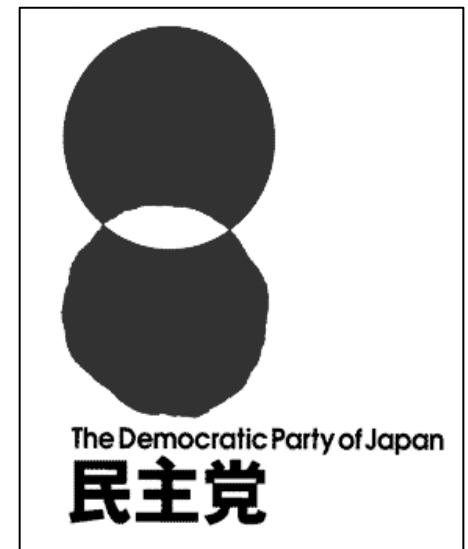
2010.7.11参院選 44議席獲得(参院で過半数割れ、ねじれ国会に)

2011.12 9人の衆院議員が離党届→新党きずな結成

2012.7.11離党した衆院議員37人と参院議員12人が国民の生活が第一結党

★「非自民」だけが結集軸の「方便政党」

★政権獲得目指して合併を繰り返し、「既成政党」色強まる。存命中。 14



みんなの党

結党：2009.8.8

「自民党は嫌だが、民主党で大丈夫か」という人たちのために

代表：渡辺喜美

2009.8.30総選挙 5議席獲得

2010.7.11参院選 10議席獲得

→参院第4党へ；比例区での得票数は
公明を上回る



2012.9.25 参議院議員2人が離党し、日本維新の会へ

「わずか1年前までは、政党政治の台風の目はみんなの党だった。その代表を務める渡辺喜美氏が指摘するように、みんなの党と維新の会は政策の重なりが大きい。だが今、みんなの党から維新の会に鞍替えが続いている。」藤原帰一「時事小言」『朝日新聞』2012.9.18夕刊。

★第3極を狙ったが、維新の前にアイデンティティの危機

存命中だが、次期総選挙で存亡が問われる。

3) 日本維新の会

2008.1.27 橋下徹、大阪府知事に当選

2010.4.19 大阪維新の会設立

2011.4 統一地方選挙

大阪府議会 維新58/109

大阪市議会 維新33/89

堺市議会 維新12/52(公明と並んで第1党)

2011.11.27 橋下徹(大阪維新の会代表)大阪市長に当選、松井一郎(大阪維新の会幹事長)大阪府知事に当選

2012.9.28 日本維新の会設立

代表:橋下 幹事長:松井 国会議員団代表:松野頼久

★政治資金規正法・公職選挙法上の政党要件を満たす。

(1)所属の国会議員が5人以上 あるいは

(2)所属国会議員が1人以上、かつ、直近のいずれかの選挙における全国を通じた得票率が2%以上のもの



政党交付金の交付対象

企業・団体献金を受け取れる。はがき、ビラの枚数で優遇。政見放送。



鞍替えした国会議員

	氏名	旧所属	選挙区	当選回数	維新の会での役職
1	松野 頼久	民主	衆・熊本1区	4	国会議員団代表
2	松浪 健太	自民	衆・比例近畿	3	国会議員団幹事長
3	石関 貴史	民主	衆・群馬2区	2	
4	谷畑 孝	自民	衆・比例近畿	5	
5	今井 雅人	民主	衆・比例東海	1	
6	水戸 将史	民主	参・神奈川	1	
7	小熊 慎司	みんな	参・比例	1	
8	上野 宏史	みんな	参・比例	1	
9	桜内 文城	みんな	参・比例	1	国会議員団政調会長

日本創新党解散2012.9.29

「ご報告と御礼」

「あらゆる分野で崩れつつあるわが国を再建できる「決められる力強い政治」を打ち立てるために、9月28日に設立された「日本維新の会」にでき得る限り参加し、さらに広範で真っ当な政治の流れをつくっていくことといたしました。」「平成24年10月4日日本創新党党首 山田宏」

「どなたとも手を組みます」

浅田均(大阪府議会議長・大阪維新の会政調会長)

DIAMOND Online 特別レポート(第284回;2012.7.5)

<http://diamond.jp/articles/-/21130>

——既存政党と手を組む考えはないのですか？

「事前にどこかの党と手を組むということは考えておりません。大阪、日本の停滞を憂い、打破する政策に賛同してくれる方ならば、どなたとも手を組みます。政策を実現させるという志を同じくすることが大前提です。」

★「排除の論理」は取らず。

維新の知恵袋・浅田均

「スターで発信力の橋下、武闘派で度胸の松井、そして、頭脳の浅田。3人のトロイカ体制こそ『大阪維新の会(維新)』のパワーの源だ」

「維新八策」の起草者

京大哲学科卒→NHK入局→OECD勤務→自民党府議→維新の会政調会長



あさだ・ひとし(1950-)

規約要旨抜粋

【総則】

- 一、大阪府に党本部を置く。
- 一、党員は綱領と政策に賛同する18歳以上の日本国民。党費を納める。

【議決・執行】

- 一、最高議決機関を全体会議とし、国会議員、首長、地方議員、公認候補予定者で構成する。
- 一、代表、副代表、幹事長、副幹事長、政調会長、総務会長で構成する執行役員会で、国会対策を審議し、決める。
- 一、代表を党の最高責任者とする。
- 一、代表任期は就任から3年後の9月末までで再任可能。任期満了の年の9月に代表選挙を実施する。首相公選制の実現を見据え、全ての党員は1人1票を持つ。

【選挙】/【会計】

- 一、国政選挙や地方選挙の候補者の公認・推薦、比例代表の名簿登載順位は執行役員会の議決を経て代表が決める。
- 一、企業・団体献金を禁止。党の運営費は党費、寄付、事業収入、政党交付金等を充てる。

次期総選挙に向けて

350人規模の候補者擁立を検討。

「過半数の候補者を立てるなら、その中で誰がリーダーか示さなければ
ならない」(橋下代表・2012.9.28)

★維新の首相が、代表である大阪市長に指示を仰ぐ事態も？

「大きな戦略については、今の国会議員団よりも僕のほうがたけている」
「国会議員団に変なパフォーマンスに走らないでくれと、松浪議員にきち
んと言っています」『朝日新聞』2012.10.4

★日本新党方式ではなく新自由クラブ方式；現職議員、(元)首長の加
入で、「既成」色を帯び「ブーム」は不発に？

参考文献

浅川博忠(2005)『新党盛衰史』講談社文庫。

石川真澄(2004)『戦後政治史 新版』岩波新書。

河野洋平(1976)『拍手はいらない』PHP。

「冷めてきた「橋下フィーバー」」(2012)『選択』2012年10月号。

『政界・官庁人事録』(東洋経済)各年版。

中野雅至(2012)『財務省支配の裏側』朝日新書。

細川護熙(1992)「自由社会連合」結党宣言」『文藝春秋』1992年6月号。

渡邊恒雄(2012)『反ポピュリズム論』新潮新書。